

開講年度	2022 年度	科目名	介護実習
------	---------	-----	------

1 科目概要

科目コード		教科	福祉		単位数	3 単位	
開設学年	第 1 学年	開設学科	生物生産科	農業機械科	食品科学科	総合ビジネス科	介護福祉科
							○
教科書(出版社)	なし						
副教材(出版社)	最新・介護福祉士養成講座 10「介護総合演習・介護実習」(中央法規) 最新・介護福祉士養成講座 6「生活支援技術Ⅰ」(中央法規) 最新・介護福祉士養成講座 7「生活支援技術Ⅱ」(中央法規)						

2 目標

福祉の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、根拠に基づいた介護及び支援を実践するために必要な資質・能力を次のとおり 育成することを目指す。

- (1) 介護及び支援の実践について体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。
- (2) 介護及び支援の実践に関する課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ科学的な根拠に基づいて創造的に解決する力を養う。
- (3) 健全で持続的な社会の構築を目指して自ら学び、介護及び支援の適切な実践に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

3 評価方法

介護実習出席状況・巡回指導時の面談・実習指導者の評価・記録など総合的に判断して評価する。

4 授業の受け方・留意点

実習心得を理解し、具体的な目標を持って誠実な態度で実習に臨むこと。

5 学習計画

学期	月	章	単元・学習内容	学習のねらい
2	8		デイサービスセンター実習 (8 月に 4 日間)	・ デイサービスセンターの役割を理解するとともに、利用者や家族とコミュニケーションを図り利用者の状況を理解する。
	9		デイサービスセンター実習 (9 月に 7 日間)	・ 利用者や家族と適切にコミュニケーションを図り、利用者のニーズを理解する。 ・ 衣服の着脱・食事・清潔の介護など基礎的・基本的な介護技術を実践する。 ・ 利用者の送迎を体験し、通所介護の意義を理解する。
	10		グループホーム実習 (10 月に 2 日間)	・ グループホームの役割を理解するとともに、利用者とコミュニケーションをとり、利用者の状況を理解する。 ・ 利用者の状況に応じた衣服の着脱・食事・清潔の介護など基礎的・基本的な介護技術を実践する。 ・ 地域との交流や連携を理解する。

福祉科「介護実習」	単 位 数	4単位
	学科・学年	介護福祉科（2年）

（１）学習のねらい（目標）および使用教材

学習到達目標	高齢者施設実習・訪問介護同行訪問実習・障害者施設実習を通して、利用者とコミュニケーションを図り、利用者のニーズを理解するとともに基本的な介護技術を実践し、介護技術を身に付ける。また、個別ケアと多職種連携と協働について理解する。
使用教科書 副教材	最新・介護福祉士養成講座 10「介護総合演習・介護実習」（中央法規） 最新・介護福祉士養成講座 6「生活支援技術Ⅰ」（中央法規） 最新・介護福祉士養成講座 7「生活支援技術Ⅱ」（中央法規）

（２）評価の観点および評価方法

評価の観点	関心・意欲・態度 利用者に関心を持ち、意欲的に実習をしている。 思考・判断・表現 利用者の生活状況を観察し、適切な介護について考えている。また、多職種連携と協働の意義を考えている。 技能 利用者と適切なコミュニケーションをとり、介護技術を実践している。 知識・理解 こころとからだのしくみの関係を理解し、高齢者・障害者の介護に必要な知識を身に付けている。
評価方法	介護実習出席状況・巡回指導時の面談・実習指導者の評価・記録など総合的に判断して評価する。

（３）授業の受け方および学習方法

授業の受け方 および学習方法	実習心得を理解し、具体的な目標を持って、実習を行う。また、利用者を受け入れ施設に感謝し、失礼のないように誠実に実習に臨むこと。
-------------------	---

（４）学習計画

「１学期」

項 目	学 習 の ね ら い
高齢者施設実習 （８月に４日間）	・ 高齢者施設の役割を理解するとともに、利用者とコミュニケーションをとり、基本的な介護技術を実践すると共に利用者の状況を理解する。

「２学期」

項 目	学 習 の ね ら い
高齢者施設実習実習 （９月に９日間）	・ 利用者と適切にコミュニケーションをとり、利用者のニーズを理解する。 ・ 衣服の着脱・食事・清潔・排泄の介護など基礎的・基本的な介護技術を実践し、身に付ける。 ・ 個別ケアの方法を観察し、理解する。
障害者施設実習 （１０月に３日間）	・ 障害者施設の役割を理解するとともに、利用者とコミュニケーションをとり、利用者の状況を理解する。 ・ 障害者に応じた基礎的・基本的な介護技術を実践する。

訪問介護同行訪問実習(12 月に1日間)	・利用者の生活状況とニーズを理解し、生活支援を実践する。 ・多職種連携と協働の意義と方法を理解する。
-------------------------	---

福祉科「介護実習」	単位数	6 単位
	学科・学年	介護福祉科（3 年）

（１）学習のねらい（目標）および使用教材

学習到達目標	これまで学んだ知識と技術を活用し、担当利用者の介護計画の作成・実践と評価・介護計画の修正といった一連の介護過程の実践を通して、個別ケアを学習する。また、介護福祉士としての職業観・倫理観・実践力を身につける。
使用教科書 副教材	最新・介護福祉士養成講座 10「介護総合演習・介護実習」（中央法規） 最新・介護福祉士養成講座 6「生活支援技術Ⅰ」（中央法規） 最新・介護福祉士養成講座 7「生活支援技術Ⅱ」（中央法規） 最新・介護福祉士養成講座 8「生活支援技術Ⅲ」（中央法規）

（２）評価の観点および評価方法

評価の観点	関心・意欲・態度 利用者に関心を持ち、意欲的に実習をしている。 思考・判断・表現 利用者の生活状況を観察し、個々に対応した介護について考えている。また、多職種協働やチームアプローチの意義を考えている。 技能 利用者の生活課題に応じた生活支援の方法を理解し、介護過程を実践する。 知識・理解 認知症の高齢者や障害者などの自立生活支援のための個別ケアを進めるために必要な知識・技術を身に付けている。
評価方法	介護実習出席状況・巡回指導時の面談・実習指導者の評価・記録など総合的に判断して評価する。

（３）授業の受け方および学習方法

授業の受け方 および学習方法	実習心得を理解し、具体的な目標を持って実習を行う。また、利用者と受け入れ施設に対し、失礼のないように誠実に実習に臨む。
-------------------	---

（４）学習計画

項 目	学 習 の ね ら い
高齢者施設実習 5 月（15 日間） 7 月（10 日間）	・利用者一人ひとりの個性や生活のリズムを尊重した個別ケアの実践を中心に一定期間継続した実習を行い、利用者ごとの目標の設定、介護計画の立案、実施、評価、介護計画の修正など一連の介護過程を理解する。 ・カンファレンスやサービス担当者会議に参加し、介護福祉士としての視点およびチームとしての連携方法について理解する。